Yodogawa Syu-Un Watching Map

淀川舟運ウォッチングマップ

船から見る淀川再発見

琵琶湖・淀川流域圏の再生

■ 編集・発行
【琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会】
近畿地方整備局、近畿運輸局、近畿農政局、近畿中国森林管理局、近畿経済産業局、近畿地方環境事務所、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、京都市、大阪市、独立行政法人水資源機構（オブザーバー）
［事務局］
国土交通省近畿地方整備局企画部広域計画課内
〒540-8586 大阪市中央区大手前1-5-44
TEL:06-6942-1141（大代表）FAX:06-6942-7463
琵琶湖・淀川流域圏の再生ホームページアドレス
http://www.kkr.milt.go.jp/plan/biwayodosaisei/
■ 編集・協 力
【淀川舟運整備推進協議会】

※船上から菅原城北大橋を望む。

2019.3

「ワンド」

とは淀川本流とつながっているか、水が増えたときにつながってしまうような場所をいいます。ワンドのコトバの語源ははっきりしていませんが、「入り江」や「川の淀み」「淵」のことをワンドと読んでいる地方があることから、淀川でもワンドと呼ぶようになりました。そしてこのワンドは「淀川らしさ」の象徴ともなっています。ワンドは、様々な生き物のすみかとなっています。たとえば天然記念物のイタセンパラは、淀川ではこのワンド周辺でしか見ることができません。ワンドはまさに貴重な生き物たちのすみかなのです。（淀川河川事務所HPより抜粋）

「船着場」

国土交通省では、淀川本流において、災害時の物資輸送などのための緊急用船着場を整備しています。現在9ヶ所（左岸5、右岸4）の整備が完了しています。
（淀川の舟運再生と水辺の賑わい創出構想より抜粋）

凡例

- 史跡
- 取水口
- 距離標（河口からの距離（km））
- 樋門
- 船着場
- 浄水場

カヌーに乗った人もいるよ

三川合流点域～鳥飼仁和寺大橋

は、船上から確認できます。

この地図は国土地理院発行の数値地図 25000（京都及大阪）を使用したものである。

水利用

1 磯島取水口　枚方市

ここで取水された水は磯島取水場から中宮浄水場へ送水されます。上流側には大阪**広域**水道**企業団**の取水口があります。

2 木屋取水口　寝屋川市

淀川の水を取水口から取り入れ、香里（こうり）浄水場に送っている施設です。

3 太間排水樋門・排水機場　大阪府

寝屋川下流部の洪水時の流量負担を軽くするためポンプで淀川へ水を排水するための施設です。

構造物

1 枚方大橋　昭和４２年完成　合成桁

大阪府内の淀川では最上流部にあります。次に上流にある京都府八幡市の御幸橋までは約11km 離れています。

2 枚方水管橋　昭和４０年完成　ランガー補剛形式

大阪**広域**水道**企業団**村野浄水場から北摂地域へ水道水を送る管（直径1.2ｍ×２連）を渡すための橋です。

3 淀川新橋　昭和５６年完成　合成桁

橋の形式として最も一般的な桁橋の構造をしています。

4 鳥飼仁和寺大橋　昭和６２年完成　斜張橋

大阪府道路公社が管理している一般有料道路です。

歴史・文化・自然

1 樟葉ワンド

2 鵜殿のヨシ原

3 市立枚方宿鍵屋資料館

鍵屋（かぎや）は、伏見と大坂を結ぶ三十石船の船**待ち**の宿として江戸時代に栄え、近年まで料亭を営んでいました。**主**屋の広い間口には、揚り上げ戸など、街道の旅人を招き入れる工夫がなされていました。**主**屋は市の指定文化財であり、貴重な歴史的建造物です。

4 郵便屋の渡しの碑

明治9年、淀川右岸に鉄道が開通したのち、北河内地方の郵便物は大塚（枚方）の渡しを利用して高槻まで運ばれたので、郵便屋の渡しとも呼ばれました。

5 出口の高規格堤防

淀川の出口地区は昭和６３年に日本で初めてつくられた高規格堤防の発祥の地です。

6 三島江の渡し跡

江戸時代は渡し場として活気があり、大坂商人が三島江に渡り、能勢妙見山などに参拝に向かいました。堤防下に妙見灯篭が残っています。

7 くらわんか舟発祥の地

当時淀川を往来する船に向かって酒や餅を売っていた小舟を「くらわんか舟」といいます。「餅くらわんか、酒のまんかい」と乱暴な言葉で三十石船の船客に商売を行いました。

8 点野ワンド

9 鳥飼の渡し跡

江戸時代、このあたりには多くの渡しがありました。そのうち、鳥飼（とりかい）渡しといえば、下の渡しのことを指すことが多いといわれています。昭和22年に木造の橋が完成し、一津屋渡しなどは廃止されましたが、下の渡しのみ昭和５０年まで地元の足となっていました。

10 佐太の渡し跡

佐太（さた）は枚方宿と守口宿の中間地点に位置しており、江戸時代には間宿として栄え、菅原道真ゆかりの佐太神社前の天神浜は佐太の渡し場であり、年貢米の積み出し場となっていました。

11 鳥飼ワンド

鳥飼大橋～八軒家

🔭は、船上から確認できます。

3 平田（へいた）の渡し跡

大阪市旭区豊里町から対岸の東淀川区豊里町までの間を渡し船が結んでいました。昭和４５年、豊里大橋が開通して廃止されるまで約３００年続きました。

4 城北（しろきた）ワンド群

5 大阪市水道発祥之地 桜之宮水源地

明治２８年１１月大阪市最初の上水道が桜之宮から送水されました。それまで市民の飲料水は淀川の川水か井戸水に頼っていました。

6 毛馬桜之宮（けまさくらのみや）公園

江戸時代から桜の名所として知られ、その美しさは大阪随一とされ、多くの花見客でにぎわいました。大正１２年に市民公園として整備され、大阪でも古い歴史を持つ公園です。（毛馬（けま）橋から天満（てんま）橋までの大川両岸）

7 八軒（はちけんや）家

江戸時代に大阪の八軒家（はちけんや）浜と伏見港との間を三十石船が運行していました。天神橋の南詰めにあって、旅館が八軒あったことから八軒家と呼ばれました。

6 柴島浄水場 大阪市

明治４１年～大正３年の６年をかけて東洋一といわれた「柴島水源地」が完成しました。現在はより安全で良質な水にするために「高度浄水処理」を実施しています。

7 水道記念館 大阪市・大正3年完成 平成29年リニューアル

ネオルネサンス様式の赤煉瓦と御影石との調和が美しい建物で、館内は、水道**事業の役割や浄水場の仕組みなどについて、映像などを用いてわかりやすく紹介する学習施設となっています。**

8 城北（しろきた）川

寝屋川と旧淀川（大川）を結ぶ人工の水路です。下流に大阪市建設局城北抽水所と大阪市水道局毛馬取水場（工業用水）があります。

歴史・文化・自然

1 宮ノ下渡船場跡

宮ノ下渡船場は永禄元年頃から河地と摂津の約６００ｍを結ぶ水路として鳥飼とともに重要な渡船場でした。鳥飼大橋の完成によって姿を消すまで、約４００年の間渡し舟が活躍していました。

2 庭窪（にわくぼ）ワンド群

5 柴島取水口 大阪市

ここで取水した水は柴島浄水場へ送水されています。

2 庭窪（にわくぼ）浄水場 大阪広域水道企業団

大阪**広域**水道**企業団**で最も歴史のある浄水場です。体験して楽しんで学べる水道見学施設があります。

カワウなどがいっぱい!!

ボタンウキクサ
外来種であるボタンウキクサ（ウォーターレタス）が大繁殖！！

3 一津屋樋門 淀川河川事務所

淀川改良工事で閉めきられた神崎川に水を流すための樋門で、ここから神崎川がはじまります。すぐ近くに一津屋（ひとつや）取水口があります。

4 大道（だいどう）取水口 阪神水道企業団

淀川表流水を水道原水として取水しています。ここで取水した水は猪名川浄水場へ送水されています。

水利用

1 大庭（おおば）浄水場 大阪広域水道企業団

大阪**広域**水道**企業団**の工業用水の浄水場です。

13 川崎（かわさき）橋 昭和５３年完成・鋼斜張橋

この橋は人と自転車専用の橋です。元禄の頃は「川崎の渡し」という渡し舟がありましたが、昭和２０年に無くなり、昭和５３年に今の橋が架けられました。

14 天満（てんま）橋 昭和１０年完成・鋼桁橋

昭和１０年に現在の鋼桁橋に架け替えられました。さらにその後交通量の増大に伴って、橋の上に高架橋の「新天満（てんま）橋」が架けられ二重橋となっています。

9 飛翔（ひしょう）橋 昭和５９年完成 二重アーチ鋼トラス橋

大川右岸の北区淀川リバーサイドタウンから都島区の地下鉄都島駅に連絡する歩行者専用の橋です。

10 都島（みやこじま）橋 昭和３１年完成 ゲルバー式鋼板桁

大阪市最初の「桜之宮浄水場」があったところで、大阪市水道発祥之地の碑が立っています。

11 源八（げんぱち）橋 昭和１１年完成 ゲルバー式鋼板桁

この辺りにはかつて源八（げんぱち）渡しがあり、与謝蕪村も俳句を読んでいます。

12 桜宮（さくらのみや）橋 昭和５年完成・新銀橋が平成１８年完成・アーチ橋

通称：銀橋

銀色に塗装された橋で、戦前は日本最大のアーチ橋でした。老朽化のため、北側に新銀橋が完成し、橋は補修のため閉鎖されました。

5 淀川水管橋 昭和６０年完成 ランガー補剛形式

淀川には様々な橋が架かっています。水管橋とは水道管を渡すための橋です。

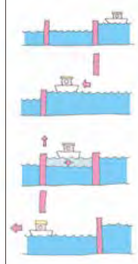
6 淀川大堰 昭和５９年完成

淀川大堰は必要な水を使えるように水の高さを調節したり、海の水が流れ込まないようにする施設です。

7 毛馬（けまこうもん）閘門 昭和５２年完成

淀川～大川間の水位を調節し舟の運行を可能にすることを目的にしています。毛馬水門の隣に位置し、船が入って出て行くまで約３０分で水位を調節できます。

毛馬閘門のしくみ



船が閘門にやってきます。

閘門の中の水の高さをあわせます。閘門の入口が開き、船が中に入ります

入り口を閉め、閘門内と出口の水の高さを合わせます。

閘門の出口が開き、船が出ていきます。

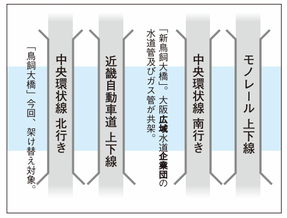
8 毛馬（けま）橋 昭和３５年完成 連続合成桁

昔は毛馬の渡しがありました。大川に入って最初に出会う橋で、毛馬橋の親柱は馬の鞍をイメージしたものになっています。

構造物

1 鳥飼（とりかい）大橋 昭和２９年完成 ゲルバートラス橋

鳥飼大橋は、新しく昭和２９年ゲルバートラス形式の鋼橋となり、一時は有料でしたが、昭和３９年からは無料となりました。その後、上流側に鋼箱桁橋が昭和４１年に架設され、昭和４８年には近畿自動車橋梁が完成し、中国自動車道と接続されました。**北行きの鳥飼大橋は、老朽化のため平成14年度から、同橋の下流川に新橋（9径間鋼床版連続箱桁橋）の架け替え工事に着手しています。**



2 豊里（とよさと）大橋 昭和４５年完成 鋼斜張橋

形式は大阪市では初めての本格的な斜張橋で、中央スパン２１５ｍは当時日本最長でした。

3 菅原城北（すがわらしろきた）大橋 平成元年完成 鋼斜張橋他

大阪市で最初に有料道路事業を取り入れて建設された橋で、普通車の通行料が１００円であることから、「１００円橋」と呼ばれています。

おおさか東線

4 赤川（あかがわ）鉄橋 昭和４年完成・複線 下路ワーレントラス橋

戦前から残されているトラス型の橋で、列**車と人が一緒に渡る、めずらしい鉄橋でしたが、現在は人道橋は廃止され、平成31年3月に開業した、おおさか東線として使用されています。**

この地図は国土地理院発行の数値地図 25000（京都及大阪）を使用したものである。